

家庭科学習指導案

令和4年10月24日(月) 第5校時 会議室
5年1組 指導者 金子由季

1 題材名 「ミシンにトライ！手作りで楽しい生活」 B(5)

2 題材について

(1) 児童観

【知識及び技能】

児童は、手縫いの学習でフェルトを使ったコースターの製作を行っている。そのため、裁縫で使用する用具の使い方や簡単な製作の手順、製作計画については理解できている。しかし、ミシン縫いによる製作は本題材が初めてであるため、ミシンを使用したことがある児童は数名いるものの、ミシンの安全な使い方や糸のかけ方、縫い方などの知識や技能は身に付いていない。また、手縫いの学習ではフェルトを使用したため、安全なアイロンの使い方や正しいまち針の使い方についての知識や技能も十分には身に付いていない。さらに、型紙を作り、製作に必要な布の大きさを捉えることも初めての学習となる。

【思考力、判断力、表現力等】

児童はこれまでの学習の中で、問題を見いだして課題を設定し、課題を解決するための学習計画を自分たちで考えて立ててきている。そのため、生活場面の想起や見本の観察から「できること」や「まだできないこと」、「できるようにしたいこと・知りたいこと」などを整理して課題を設定し、課題を解決するためにどのような学習活動が必要かを考え、学習計画を立てることができる。また、多くの児童は、手縫いの学習の中で1つ目の製作から縫い方のポイントを見つけて2つ目に生かして製作をするなど、1つ目の製作を振り返って改善点を明らかにし、2つ目の製作に取り組んできている。個人で解決方法を考えたり、よりよい方法に改善したりすることが難しい児童もいるが、友達と意見交流することで、解決方法に気付いたり、よりよい方法を考えたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

手縫いの学習では、縫い方が分からないと繰り返し動画を視聴して確認したり、休み時間や放課後などに自主的に練習をしたりと、多くの児童が課題解決に向けて自分に必要な活動を考え、主体的に学習することができる。また、より丈夫にきれいにできるように友達が見付けたポイントを参考に練習をしたり、本時でできなかったことを基に、「次はこうする」「もっとこうしたい」など、次時の目標を立てて学習に取り組んだりすることができる。さらに、手縫いの学習を生かして布製品を製作したり、自分が製作したものを家庭で使用したりと、多くの児童が学習したことを家庭で実践することに前向きである。

(2) 教材観

本題材では、生活を豊かにするための布を用いた製作を行う。児童にとって布製品は身近なものであり、身の回りの生活を快適にしたり、便利にしたり、楽しい雰囲気を作り出したりするなど、児童もその良さに気付いている。また、入学時から家庭で作ってもらった布製品を大切に使用している児童も多く、手作りの良さを実感しており、既製品とは違った良さを感じる機会も多い。このように、布を用いた製作は生活に役立つばかりではなく、身近な人との関わりを深めることにもつながる。

本題材では、自分の体の大きさに合わせたエプロンの製作を行う。エプロンは、全ての布端を三つ折りにして直線縫いをすることで完成させる事ができる。そのため、繰り返し同じ縫い方をする事ができ、初めてミシンを用いた学習をする児童にとって、ミシンやアイロンの安全な扱い方や適切な使い方について理解し、それらに係る技能を身に付けるために適している。また、手縫いの学習で製作したコースターと異なり、自分が身に付けられる大きな物を自分で作る事ができるという、ミシンの良さを感じながら製作する事もできる。エプロンについては、紐の通し方や縫い方が異なる3種類の見本の中から製作するタイプを選び、自分の思いに合った布を準備したり、使う場面を想定して大きさや形を考えたポケットを付けたりしながら製作していく。「こんなエプロンを作りたい」「こんな場面でエプロンを使いたい」という思いをもってエプロンを製作する事で、「丈夫に製作するにはどうしたらよいか」「きれいに製作するにはどうしたらよいか」と、よりよいエプロンの完成に向けて、考えながら学習に取り組むことができる。この経験は、布を用いた商品を購入する際にも生かされ、丈夫にできている物や活用場面に合っている物を選んでいこうとする商品を見る目を養うことにもつながる。また、完成後には実際に家庭や学校で使うことで、自分が製作したものを使うことのできる喜びを味わうとともに、仕上

がり具合を確かめることもできる。日常生活に使える布製品を自分で製作できたという達成感は、「次はどんな物が作れるだろうか」「誰かのために作りたい」と、今後の実践意欲を向上させることができる。以上のことから、本題材においてエプロン製作を行う事は大変意義深いと考える。

なお、本題材の学習は、第6学年「思いを形にして生活を豊かに」において、入れる物の大きさに合わせた丈夫な袋を製作する学習へと発展していく。

(3) 指導観

つかむ過程では、ミシンを提示したり、ミシンが使えるようになったらどんな物を製作したいかを考える時間を設定したりすることで、ミシンを使った学習への目的意識を高めることができるようにする。製作したい物を考える際には「誰のために作りたいか」についても考えるよう促すことで、ミシンを使えるようになることが家族のためになったり、生活を豊かにしたりすることに気付けるようにする。次に、今できることやこれからできるようにになりたいことなど、児童が見いだした問題を整理し、題材の課題設定へとつなげる。課題設定の際には、見本のエプロンを基に、どのようなエプロンを作りたいかを考える時間を確保することで、目標を達成した時のイメージをもちながら課題が設定できるようにする。そして、課題を解決するための学習計画を児童が立てることで、見通しをもって学習に取り組み、学習の必要性を感じながら主体的に学習することができるようにする。

追究する過程では、まず型紙を製作することで、各自が製作に必要な布の量を捉えることができるようにし、その後ミシンの安全な使い方や縫い方の学習を行う。型紙の作り方や糸の通し方、縫い方を学習する際には、それぞれの動画を作成し、事前に児童に家庭で視聴させることで、授業での活動時間を十分に確保できるようにする。さらに、動画を視聴した際に分かりにくかった部分を中心に授業で説明をしたり、児童同士で説明し合ったりすることで、より理解を深められるようにする。エプロン製作では、3種類のエプロン（①紐を通すタイプ、②肩紐を縫い付けるタイプ、③腰紐を縫い付けるタイプ）を提示することで、自分の思いにあったタイプを選んで製作できるようにする。また、ポケット作りにおいても形や大きさ、位置を自分で考えることで、一人一人の思いが詰まったエプロンを製作できるようにする。これらの活動場面においては、必要に応じて動画で確認をしたり、グループで相談をしたりできる環境を整え、一人一人に合った方法で学習を進められるようにする。また、児童が実際にミシンを使って見いだしたポイントを共有することで、今後ミシンを使う際に活用できる知識・技能として身に付けられるようにする。完成したエプロンは、学校や家庭で実際に使用する機会を設定することで、使いやすさを確かめて今後の活動につなげたり、達成感や自分で作った物が生活で活用できる喜びを感じたりできるようにする。

まとめる過程では、完成したエプロンを紹介し合ったり、学校や家庭で使用した感想を伝え合ったりしながら、題材全体の振り返りをする。また、題材の課題についての答えを全体で整理することで、今後の学習や家庭での実践につなげられるようにする。さらに、つかむ過程で考えた「ミシンが使えるようになったら作ってみたい物」について、製作できるかを再考する時間を設定することで、自分の成長を実感したり、今後の学習意欲の向上につなげたりできるようにする。

3 題材の目標

- (1) 製作に必要な材料や手順、製作計画やミシン縫いによる目的に応じた縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (2) 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 	<p>生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。</p>

5 指導と評価の計画 (全 13 時間)

	時間	ねらい・学習活動 ◎：家庭での活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
つかむ	1	<p>○生活を豊かにするための布を用いた製作について問題を見いだして課題を設定し、課題を解決するための学習計画を立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンを使って、できるようになりたいことについて考える。 ・見本を見て、どんなエプロンを作りたいかを考え、意見を基に課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 自分の体に合っていて、使いやすく、丈夫で、きれいなエプロンを作るには、どうすればよいだろうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するための学習計画を考える。 		①生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・振り返りカード 	
	2	<p>○エプロンの製作計画を立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本のエプロンを参考に、形や大きさひもの種類などを考え、製作計画を立てる。 ・布を観察し、布には種類や特徴があることを知る。 	①製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 	②生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画を考え、工夫している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・振り返りカード 	
追究する	3 本時	◎家庭で型紙の作り方の動画を視聴し、ポイントや分からなかったことをまとめる。	① (製作に必要な材料) <ul style="list-style-type: none"> ・型紙 ・ワークシート 		①生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・振り返りカード
		○型紙の作り方を理解し、型紙を作り、必要な布の量が分かる。 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での視聴で分からなかったことを中心に型紙の作り方を振り返る。 ・友達と協力しながら、自分の体に合った型紙を作成する。 			
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で布や紐等の製作に必要な材料を準備する。 			
	4	◎家庭で空縫いの仕方の動画を視聴し、ポイントや分からなかったことをまとめる。	②用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート 指導に生かす評価		
		○ミシンの仕組み、安全な使い方について理解することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンの準備の仕方、安全な使い方について、ミシンを用いて確認する。 ・空縫いをする。 			
5	◎家庭で上糸・下糸の準備の仕方の動画を視聴し、ポイントや分からなかったことをまとめる。	③ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について理解しているとともに、適切にできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・練習布 指導に生かす評価			
○上糸、下糸の準備の仕方、縫い方の基本について理解することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での視聴で分からなかったことを中心に、糸の取り付け方や下糸のまき方について振り返り、実際に取り付ける。 ・空縫いの学習を基に練習布を用いて試し縫いをする。 	③生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・振り返りカード 				

		<p>⑥家庭で直線縫い、返し縫い、角の曲がり方の動画を視聴し、ポイントや分からなかったことをまとめる。</p> <p>○直線縫い、返し縫い、角の曲がり方について理解し、縫うことができる。</p> <p>・家庭での視聴で分からなかったことを中心に直線縫い、返し縫い、角の曲がり方について振り返る。</p> <p>・練習布を用いて縫い方の練習をする。</p> <p>・丈夫できれいに縫うためのポイントについて気付いたことを伝え合う。</p>			
	6				
	7	<p>⑦家庭でしるし付けの仕方の動画を視聴し、ポイントや分からなかったことをまとめる。</p> <p>○型紙を基に、布にしるしを付け、布を裁つことができる。</p> <p>・家庭での視聴で分からなかったことを中心にしるしの付け方、布の裁ち方を振り返る。</p> <p>・友達と協力しながら、しるし付けをし、布を裁つことができる。</p>	<p>②用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。</p> <p>・行動観察</p> <p>・ワークシート</p> <p>・確認テスト</p>		
	8	<p>⑧家庭で三つ折り縫いの仕方の動画を視聴し、ポイントや分からなかったことをまとめる。</p>			
	9	<p>○アイロンを使って三つ折りをし、エプロンの布端を縫うことができる。</p>			
	10	<p>・家庭での視聴で分からなかったことを中心に三つ折り縫いの仕方を振り返る。</p> <p>・アイロンを使って三つ折りをし、エプロンの布端を縫う。</p>	<p>③ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について理解しているとともに、適切にできる。</p> <p>・作品</p> <p>・確認テスト</p>		
	11	<p>⑨家庭でポケットの付け方の動画を視聴し、ポイントや分からなかったことをまとめる。</p>			
	12	<p>○ポケットを付け、紐を通すことができる。</p> <p>・家庭での視聴で分からなかったことを中心に、ポケットの付け方について振り返る。</p> <p>・型紙を作り、自分の思いにあったポケットを付ける。</p> <p>・エプロンに紐を通す。</p> <p>*ひもを縫い付ける場合には8・9・10時間目で縫い付ける。</p>			
	家庭	<p>・製作したエプロンを家庭や学校で活用したり、他の物を製作したりする。</p>			
まとめる	13	<p>○題材を通してできるようになったことを自覚し、これからの生活や学習に生かしていこうとする。</p> <p>・自分の作品や実際に使ってみた様子について紹介し合う。</p> <p>・学習課題を基に本題材のまとめをする。</p> <p>・「本題材でできるようになったこと」、「今後生かしていきたいこと」を観点に振り返りをする。</p>			
				<p>④布を用いた物の製作計画や製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。</p> <p>・ワークシート</p> <p>・振り返りカード</p>	<p>③生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について工夫し、実践しようとしている。</p> <p>・ワークシート</p> <p>・振り返りカード</p>

6 本時の学習 (3/13)

<ねらい>

自分の体に合ったエプロンを製作するための型紙をペアで作る事を通して、製作に必要な布の量が分かる。

<板書計画>

ミシンにトライ！手作りで楽しい生活

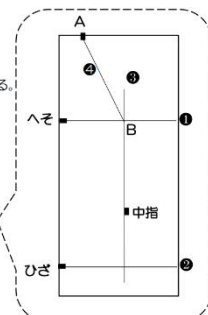
④ 自分の体に合ったエプロンを作るための型紙を作り、必要な布の量を明らかにしよう。

<型紙作りの手順> ペアで行う

しるし ①型紙のおってある側を体の中心におく。
 ②おへそのある位置にしるしを付ける。
 ③息をつけた時の中指の位置にしるしを付ける。
 ④ひざの位置を確認し、自分の計画に合わせた長さの位置にしるしを付ける。

線を引く ①おへその位置から横にまっすぐ線を引く。
 ②ひざ(長さ)の位置から横にまっすぐ線を引く。
 ③中指の位置からたてにまっすぐ線を引く。
 ④A(はじめからあるしるし)とB(①と③が交わったところ)を直線で結ぶ。

切る・測る ①線にそって、型紙を切る。
 ②型紙のたてと横の長さを測る。



○型紙作りのポイント

- ・体を曲げない。
- ・まっすぐに線を引く。
- ・2人で押さえながらやる。
- ・体の中心に合わせる。

○必要な布の量

- ・たて _____ cm + 10 cm
- _____ cm
- ・横 _____ cm + 10 cm
- _____ cm

○型紙を作ることのよさ

- ・完成をイメージしながら大きさを確認できる。
- ・間違えても直すことができる。
- ・必要な布の大きさが分かる。

<展開>

学習活動	指導上の留意点
<p>0 型紙の作り方についての動画を家庭で視聴する。</p> <p>○型紙の作り方についての動画を事前に家庭で視聴し、型紙作りのポイントや分からなかったことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・型紙作りの時間が十分に確保できるよう、事前に型紙作りの動画を視聴するよう促す。
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○学習計画を基に、本時の学習内容を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エプロンの型紙を作ろう。 ・用意する布の量を決めるために型紙を作ろう。 <p>○学習課題を基に、どのような型紙ができるよいかを考え、本時のめあてを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体に合ったエプロンを作りたい。 ・中学校でも着られるサイズのエプロンを作りたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> 自分の体に合ったエプロンを作るための型紙を作り、必要な布の量を明らかにしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が立てた計画に沿って学習が進められるよう、本時の学習内容について問いかける。 ・自分の体に合ったエプロンを作るための型紙を作るという目的意識をもつことができるよう、型紙とは何か、どんな型紙が作れるとよいかについて問いかける。 ・本時の学習が終わった後の姿をイメージし、見通しをもって学習が進められるよう、完成した型紙を掲示する。
<p>2 型紙の作り方を振り返る。</p> <p>○家庭での動画視聴を基に、分からなかったことを中心に手順を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中指の位置が分かりにくかった。 ・長さのしるしを付けるところが難しそう。 ・線のつなぎ方を確認したい。 <p>○児童が見付けたポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を曲げないようにする。 ・まっすぐに線を引く。 ・2人で協力して制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・型紙作りの時間が十分に確保できるよう、作り方を確認する際には、大型モニターに画像を映しながら分からなかったことを中心に確認を行う。 ・自分の思いや体に合った型紙をより正確に作るができるよう、児童が家庭での動画視聴で見付けた型紙作りのポイントを共有する。

<p>3 型紙を作り、必要な布の量を計算する。</p> <p>○ペアになり、型紙を作る。</p> <p><型紙作りの手順></p> <p>しるし</p> <ol style="list-style-type: none"> ①型紙の折ってある側を体の中心におく。 ②おへそのある位置にしるしを付ける。 ③気を付けをした時の中指の位置にしるしを付ける。 ④自分の計画に合わせた長さにしるしを付ける。 <p>線を引く</p> <ol style="list-style-type: none"> ①おへその位置から横にまっすぐ線を引く。 ②ひざ（丈）の位置から横にまっすぐ線を引く。 ③中指の位置からたてにまっすぐ線を引く。 ④A（はじめからあるしるし）とB（①と③が交わったところ）を直線で結ぶ。 <p>切る・測る</p> <ol style="list-style-type: none"> ①点線にそって、型紙を切る。 ②縦と横の長さを測り、記入する。 <p>○必要な布の量を計算する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦と横の長さに10cm足せば必要な布の量が分かる。 ・縦○cm、横○cmの布を準備すればいいことが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広いスペースで作業ができるよう、机上の必要のない物はしまうよう促す。 ・一人一人の思いに合ったエプロンの型紙が作れるように、互いの思いを伝え合いながらしるしをつけるよう促す。 ・製作途中で型紙の大きさを確認できるよう、鏡やタブレット端末の撮影を使って確認するよう助言する。 ・型紙の作り方が分からない時には児童自身で解決できるよう、同じグループで相談をしたり、タブレット端末で動画を確認したりするよう促す。 ・自信をもって活動できるよう、2人で型紙を押さえるなど協力しながら作成している児童や、ペアの望んでいるエプロンの長さを確認するなど相手の思いを大切しながら作成している児童を称賛する。 ・用意する布の量が明らかになるように、型紙の長さから必要な量を計算するよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>必要な布の長さを計算する場面</p> </div> <p>（型紙、ワークシート） 知識・技能①（製作に必要な材料）</p>
<p>4 本時のまとめをし、振り返りをする。</p> <p>○型紙を作ることよさについて考え、まとめる。</p> <p><型紙を作るよさ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成をイメージしながら大きさを確認できる。 ・間違えても直すことができる。 ・必要な布の大きさが分かる。 <p>○本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったことなどについて、振り返りカードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポケット作りで活用できるよう、型紙を作ることよさについて問いかける。 ・できるようになったことや分かったこと、今後の課題を自覚できるよう、視点を基に振り返りをするよう促す。 ・学習の見通しがもてるよう、学習計画を基に次時の学習について問いかける。
<p><振り返り> 本時の学習でできるようになったことやわかったこと、できなかったことなど。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・型紙を作ると大きさが確認できることがわかったから、何かを作る時はまず型紙を作るようにする。 ・分からないことは動画を見ながら、友達と協力して作成することができた。 ・〇〇さんの中学生でも使えるから長くしたほうがいいというアドバイスで、中学校でも使えるエプロンの型紙を作ることができた。 ・型紙が短くなったしまったので、布を裁つときは10cm長くする。今度型紙を作るときは、姿勢に気を付けて作りたい。 ・型紙を作ったことでエプロンの大きさと必要な布の量が分かり、エプロンを作る事がより楽しみになった。 	

「B衣食住の生活」の「衣生活」の2年間を見通して題材配列と指導内容

学年		第5学年		第6学年		
題材		3ひと針に心をこめて	8ミシンにトライ！手作りで楽しい生活	11夏をすずしくさわやかに	12思いを形にして生活を豊かに	14冬を明るく暖かく
時間		11	13	8	9	5
指導項目	(4)衣服の着用と手入れ	ア(イ)		ア(ア)(イ) イ		ア(ア) イ
	(5)生活を豊かにするための布を用いた製作	ア(ア)(イ) イ	ア(ア)(イ) イ		ア(ア)(イ) イ	
	その他の内容			B(6)ア(ア) イ		B(6)ア(ア) イ
実習題材		コースター	エプロン		トートバック	
(4)衣服の着用と手入れ	ア (ア)	衣服の主な働き			◎	○
		快適な着方			◎	◎
	ア (イ)	手入れの必要性			◎	
		ボタンの付け方	◎			
		洗濯の仕方			◎	
	イ	快適な着方			◎	◎
手入れの仕方				◎		
(5)生活を豊かにするための布を用いた製作	ア (ア)	製作に必要な材料や手順	○	◎		○
		製作計画		○		◎
	ア (イ)	手縫いによる目的に応じた縫い方	◎			
		ミシン縫いによる目的に応じた縫い方		◎		○
		用具の安全な取扱い	◎	◎		○
	イ	製作計画	○	○		◎
		製作	◎	◎		◎

第5学年 「ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活」 学習指導案〈略案〉 1／13時

(1) ねらい

ミシンの学習のできるようになりたいことやそのために必要な学習について意見交流することを通して、本題材の課題を設定し、課題を解決するための学習計画を立てることができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて> 学習課題を設定し、学習計画を立てよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ミシンへの関心が高められるよう、導入でミシンを見せる。
<p>2 題材の課題を設定する。</p> <p>○ミシンで作ってみたいもの、作れるようになりたいものを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランチセットケース ・ランチマット クッション ・ふくろ ・エプロン <p>○どのようなエプロンを作りたいかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> サイズがちょうどいい 丈夫（縫い目が取れない） 使いやすい（サイズ、ポケット） きれい（縫い目） <p>○題材の課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の体に合っていて、使いやすく、丈夫で、きれいなエプロンを作るには、どうすればよいだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 目標をもってミシンの学習ができるよう、ミシンが使えるようになったらどんなものを作ってみたいか考える時間を設定する。 ミシンを使えることが家族の役に立ったり、家族を喜ばせたりすることができることに気付けるよう、誰のために作りたいかについて問いかける。 どのようなエプロンを作りたいか想像をしやすいするため、教員がエプロンを着用してみせる。 児童の思いから課題が設定できるよう、「どのようなエプロンを作りたいか」という思いを基に題材の課題を考えるよう促す。 学習後の姿を具体的に想像できるようにするため、題材の課題に入る言葉についてはよく確認をして共通理解を図る。
<p>3 学習計画を立てる。</p> <p>○エプロンを完成させるために、どのような学習が必要かを考え、学習計画を立てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①計画を立てる ②ミシンの使い方について (電源の入れ方 安全な使い方 上糸・下糸) ③練習する (直線縫い 返し縫い 角の縫い方) ④エプロンを縫う (アイロン) ⑤使ってみる ⑥まとめ、振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決するための学習計画が具体的に考えられるよう、グループで話し合う時間を設定する。 グループから出された意見を生かすことができるよう、グループごとの意見を書き出してから、学習する順番を問いかける。 初めてミシンについて学習するため、具体的に学習内容がイメージできるよう、ミシンを用いながら、必要な学習について確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習課題を設定し、学習計画を立てる場面</p> </div> <p>(ワークシート) 思考・判断・表現①</p>
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>○本時の学習を振り返り、これからの学習で頑張りたいことをワークシートに記入する。</p> <p>○次時の学習の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 題材全体の振り返りで見返すことができるよう、これからの学習で頑張りたいことやできるようになりたいことをワークシートに記入するよう促す。 学習の見通しがもてるよう、学習計画を基に次時の学習について確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><振り返り> これからの学習のできるようになりたいこと、頑張りたいこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ミシンを一人で使えるようになって、家族のためにランチマットが作れるようになりたい。 自分に合ったエプロンができるよう、丁寧に作っていきたい。 ミシンの正しい使い方を知って、安全に作っていきたい。 </div>	

第5学年 「ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活」 学習指導案〈略案〉 2／13時

(1) ねらい

3種類の見本のエプロンの観察し、使う場面や使いやすさについて意見交流することを通して、エプロンの製作計画を立てることができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○学習計画を基に、本時の学習内容を想起する。 ・布を準備するために製作計画を立てよう。 ○本時のめあてを立てる。</p> <p><めあて> どんなエプロンを作るかを考え、製作計画を立てよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童が立てた計画に沿って学習が進められるよう、学習計画を提示し、本時の学習内容について問いかける。
<p>2 エプロンの製作計画を立てる。 ○エプロンを使う場面や使いやすさを基に、どのような視点でエプロンの計画を立てたらよいか、全体で確認をする。 ・中学でも使えるよう、少し大きめに作りたい。 ・調理の時に使うから、汚れが目立たない色がいい。 ・ハンカチがすぐに使えるよう、ポケットを一つ付けたいな。 ○自分の考えや友達の意見を基に、3種類の中から作るエプロンを決め、製作計画を立てる。 ・①のエプロンが身に付けやすそうがいいな。 ・エプロンの長さは、膝から10cm位下かな。 ○必要な材料を考える。 ・①のエプロンは丸紐が必要だ。 ・エプロンの大きさが分らないと布の大きさが分らないな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> エプロンの大きさ、色、ポケットの位置や大きさなど具体的な製作計画が立てられるよう、使う場面や使いやすさについて考え、意見交流する場を設定する。 一人一人の思いに合ったエプロンが作れるよう、3種類のエプロンの見本を提示する。 完成をイメージしながら計画が立てられるよう、見本のエプロンを着用できるようにしておく。 自信をもって製作に入れるよう、工夫して計画を立てている児童や思いを基に具体的に計画を立てる児童を称賛する。 3時間目に型紙を作る事で布の大きさを計算できるよう、型紙の大きさに縦・横10cm足した布が必要である事を板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>製作計画を立てる場面</p> </div> <p>(ワークシート) 知識・技能① 思考・判断・表現②</p>
<p>3 布の観察をし、布の種類や特徴についてまとめる。 ○3種類の布の特徴について考える。 ・コースターで使った布はフェルトだな。 ・織物は縦糸と横糸からできている。 ・体育着に使われているのは、編物なんだ。 ○織物を実際に引っ張りの布の伸び方を確認し、織物の特徴をまとめる。 ・縦に引っ張るとあまり伸びない。 ・ななめに引っ張るとよく伸びる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 布の種類や特徴について実際に触ることで理解が深められるよう、グループごとに布を準備する。 エプロン製作に適した布が準備できるよう、布を準備する際に気を付けることをワークシートを用いて確認する。
<p>4 本時の振り返りをする。 ○本時の学習で分かったことや分からなかったこと、頑張りたいことについて、振り返りカードに記入する。 ○次時の学習の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分かったことや分からなかったことについて自覚できるよう、視点を基に振り返りをするよう促す。 学習の見通しが持てるよう、学習計画を基に次時の学習について確認する。
<p><振り返り> 本時の学習で分かったことや分からなかったこと、頑張りたいこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> エプロン製作の計画を立てたから、計画通りに作れるよう、ミシンの使い方をしっかり覚えたい。 布には種類があり、作る物によって使い分けるといいことが分かったので、これから自分で物を作る時には考えて選びたい。 自分の体に合ったエプロンが作るには型紙作りが大切だから、丁寧に型紙を作りたい。 	

第5学年 「ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活」 学習指導案〈略案〉 4／13時

(1) ねらい

実際にミシンを操作し、ミシンの準備や空縫いをするを通して、ミシンの仕組みや、安全な使い方について理解することができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>0 空縫いの仕方についての動画を家庭で視聴する。 ○ポイントや分からなかったことをまとめ、タブレット端末で送る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ミシンを実際に使う時間が十分に確保できるよう、事前に空縫いの仕方の動画を視聴するよう促す。
<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○学習計画を基に、本時の学習内容を想起する。 ・ミシンの使い方を見に付けよう。 ○学習計画を確認し、ミシンをどのように使ったらよいかを考え、本時のめあてを設定する。 ・ミシンを安全に使いたい。 ・正しい使い方を覚えたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> ミシンの安全で正しい使い方を身に付けよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 児童が立てた計画に沿って学習が進められるよう、学習計画を提示し、本時の学習内容について問いかける。 ミシンの安全な使い方についても学習する必要があることに気付けるよう、ミシンの危険性について問いかける。
<p>2 ミシンの使い方を確認する。 ○ミシンを使うときの約束を確認する。 ・針から目を離さない。 ・作業している人、ミシンに触らない。 ○ミシンを実際に見たり、さわったりしながら、各部の名前や役割、使うときに手順を確認する。 ・電源が切れていることを確認してから準備する。 ・はずみ車を回すと針が上下する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安全に使うための約束の必要性を理解できるよう、約束の理由について問いかける。 ミシンの使い方や各部の役割について理解できるよう、実際に動いている様子を見せたり、ミシンに触る時間を設けたりしながら確認を行う。 互いに協力しながら学習が進められるよう、ミシンを二人以上でさわらないことを徹底しながら、教え合う活動を取り入れる。
<p>3 空縫いを行う。 ○家庭での動画視聴を基に、分からなかったことを中心に手順を確認する。 ・布をどのように置いたらよいか分からない。 ・針を刺す部分がよく分からなかった。 ○児童が見つけたポイントを確認する。 ・ハの字で布を押さえるとよい。 ・針が体の中心にくるように座るとよい。 ○実際にミシンを使って空縫いを行う。 ・ミシンの動きに合わせて布を進めていこう。 ・手順が分からなくなったから、動画で確認しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作業の時間が十分に確保できるよう、空縫いの仕方を確認する際には、大型モニターに動画を映しながら分からなかったことを中心に確認を行う。 空縫いをするときに活かせるよう、児童が事前に見つけた空縫いのポイントを共有する。 途中で空縫いの手順を確認できるよう、作業で分からなかったときは、グループで相談したり、タブレットで動画を確認したりするよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ミシンを扱う場面</p> <p>(行動観察、ワークシート) 知識・技能②</p> </div>
<p>4 本時の振り返りをする。 ○本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったことなどについて、振り返りカードに記入する。 ○次時の学習の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> できるようになったことや分かったこと、今後の課題を自覚できるよう、視点を基に振り返りをするよう促す。 学習の見通しがもてるよう、学習計画を基に次時の学習について問いかける。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><振り返り> 本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったこと。 ・ミシンは危険な部分もあることが分かったから、ミシンを使っている人にぶつからないようにする。 ・縫うときの手順がまだ覚えられていないから、動画を見て手順を確認したい。</p> </div>	

第5学年 「ミシンにトライ！ 手作り楽しい生活」 学習指導案〈略案〉 5／13時

(1) ねらい

上糸・下糸の準備の仕方、縫い方について確認し、上糸や下糸を取り付けたり、直線縫いをしたりすることを通して、糸の取り付け方、下糸の巻き方、縫い方の基本について理解することができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>0 上糸・下糸の準備の仕方についての動画を家庭で視聴する。 ○ポイントや分からなかったことをまとめ、タブレット端末で送る。</p>	<p>・上糸・下糸の準備の練習時間が十分に確保できるよう、事前に動画を視聴するように促す。</p>
<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○前時で学習した、ミシンを使うときの約束や基本の手順を振り返る。 ○学習計画を基に、本時の学習内容を想起する。 ・糸のセットの仕方を覚えよう。 ○学習計画を基に、本時のめあてを設定する。 ・糸を正しくセットできるようになりたい。 ・セットの順番を覚えたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> 下糸・上糸のセットの仕方を身に付けよう。</p> </div>	<p>・児童が安全に気を付けて実習を進められるよう、気を付けることだけでなく、その理由も問いかける。 ・児童が立てた計画に沿って学習が進められるよう、学習計画を掲示し、本時の学習内容について問いかける。</p>
<p>2 上糸・下糸の準備の仕方を振り返る。 ○家庭での動画視聴を基に、分からなかったことを中心に手順を確認する。 ・下糸を巻くとき、ボビンの内側から外側に糸を通すところが分かりにくかった。 ・下糸のボビンの向きを確認したい。 ・上糸を付けるときの糸を通すところが難しそう。</p>	<p>・上糸・下糸の準備の練習時間が十分に確保できるよう、準備方法を確認する際には、大型モニターに動画を映しながら分からなかったことを中心に確認を行う。 ・より正しく安全に糸をセットできるよう、児童が家庭での動画視聴で見つけたポイントを共有する。</p>
<p>3 上糸・下糸の準備の仕方を練習する。 ○確認したことをもとに、下糸、上糸のセットの仕方を練習する。 ・上糸は、ミシンに書いてある順番に進めよう。 ・下糸の向きが正しいか、友達に確認してもらおう。</p>	<p>・自信をもって活動できるよう、2人で教え合いながら協力している児童や、動画を見返して児童自身で解決している児童を称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>上糸・下糸の準備をする場面</p> </div> <p>(行動観察、ワークシート、練習布) 知識・技能③</p>
<p>4 本時の振り返りをする。 ○練習をして気が付いたことを共有する。 ・下糸を巻くとき、ボビンに糸を通すときは内側から外側へ通すことが大切。 ・下糸をセットするとき、ボビンの向きを間違えると、正しく縫えない。 ○本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったことなどについて、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・できるようになったことや分かったこと、今後の課題を自覚できるよう、視点を基に振り返りをするように促す。 ・学習の見通しがもてるよう、学習計画を基に次時の学習について問いかける。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><振り返り> 本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下糸を入れるときに、糸の向きを間違ってしまったので、次はよく確認したい。 ・正しく糸をセットして、安全にミシンを使えるようにしたい。 ・「下糸を入れる→上糸をかける→下糸を引き出す」の順番で、正しく糸をセットできるようにしたい。 </div>	

<ねらい>

ミシン縫いの練習を通して、直線縫い、返し縫い、角の曲がり方について理解するとともに、それらの縫い方ができる。

<展開>

学習活動	指導上の留意点
<p>0 直線縫い、返し縫い、角の曲がり方についての動画を家庭で視聴する。 ○ポイントや分からなかったことをまとめ、タブレット端末で送る。</p>	<p>・ミシンの練習時間を十分に確保できるよう、直線縫い、返し縫い、角の曲がり方についての動画を事前に視聴するよう促す。</p>
<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○丈夫できれいなエプロンを製作するにはどのように縫うことができるかよいか考える。 ・縫い目が取れず、まっすぐ縫うこと。 ○本時のめあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> 丈夫で、きれいなエプロンを作るための縫い方のポイントを見付け、練習しよう。</p> </div>	<p>・丈夫できれいなエプロンを作るための学習であるという目的意識をもつことができるよう、「丈夫」や「きれい」の具体的な様子について問いかける。 ・児童が立てた計画に沿って学習が進められるよう、本時の学習について問いかける。</p>
<p>2 直線縫い、返し縫い、角の曲がり方について振り返る。 ○家庭での動画資料を基に、分からなかったことを中心に手順を確認する。 ・返し縫いを始める位置がよく分からなかった。 ・なぜ角を曲がる時に針をさすのだろうか。 ○児童が見付けたポイントを確認する。 ・返し縫いは、縫い目の上を縫えるようにする。 ・角に針を刺したままおさえを上げて向きを変える。</p>	<p>・練習時間が十分に確保できるよう、縫い方を確認する際には、大型モニターに動画を映しながら分からなかったことを中心に確認を行う。 ・返し縫いを行う良さに気付けるよう、児童同士で話し合い、考えを伝え合えるよう促す。 ・縫い方のポイントや注意点をより正確に捉えられるよう、児童が家庭での動画視聴で見付けた縫い方のポイントを共有する。</p>
<p>3 直線縫い、返し縫い、角の曲がり方を練習する。 ○実際にミシンと練習布を用いて、直線縫い、返し縫い、角の曲がり方を練習する。 ・両手でしっかりと押さえたら、真っ直ぐに縫えた。 ・角の曲がり方をもう一度動画で確認しよう。</p>	<p>・ポイントを確認しながら縫えるよう、練習布を用いて返し縫い、角の曲がり方を友達と見合いながら縫うよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>ミシン縫いを練習する場面</p> </div> <p>(練習布、行動観察) 知識・技能③</p>
<p>4 本時の学習をまとめ、振り返りをする。 ○直線縫い、返し縫い、角の曲がり方を実践し、気付いたことを共有する。 ・真っ直ぐ縫うためには、目印を見付けて縫う。 ・角を曲がるときは、少し前で止めてはずみ車を回して縫う。 ○本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったことなどについて、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・エプロン作りで活用できるよう、活動の中で見付けた縫い方のポイントについて問いかける。 ・できるようになったことや分かったこと、今後の課題を自覚できるよう、視点を基に振り返りをするよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>学習を振り返る場面</p> </div> <p>(ワークシート、振り返りカード) 思考・判断・表現③ ・学習の見通しがもてるよう、学習計画を基に、次時の学習について確認する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><振り返り> 本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったこと。 ・返し縫いをする、丈夫なエプロンが作れそうだったから忘れずにやりたい。 ・真っ直ぐに縫うためには、ミシンにある目印を参考にしながら縫うといいことが分かったので、エプロン作りで生かしたい。</p> </div>	

第5学年 「ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活」 学習指導案〈略案〉 7/13時

(1) ねらい

製作した型紙を基にしるし付けや布を裁つ活動を通して、縫いしろの必要性やしるしの付け方、安全な裁ち方が分かる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>0 しるし付けについての動画を家庭で視聴する。 ○ポイントや分からなかったことをまとめ、タブレット端末で送る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・しるし付けの時間が十分に確保できるよう、事前に動画を視聴するよう促す。
<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○学習計画を基に、本時の学習内容を想起する。 ・エプロン作りが始まるから、まずは布を裁とう。 ・布を裁つためのしるしを付けよう。 ○学習計画を基に、本時のめあてを設定する。 ・自分の体に合ったエプロンになるように、正しくしるしを付けて、布を裁ちたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が立てた計画に沿って学習が進められるよう、学習計画を掲示し本時の学習内容について問いかける。 ・本時の学習が終わった後の姿をイメージし、見通しをもって学習が進められるよう、裁ち終わった布を提示する。
<p><めあて> しるしを付けて、布をたとう。</p>	
<p>2 しるしの付け方を振り返る。 ○家庭での動画視聴を基に、分からなかったことを中心に手順を確認する。 ・切り取り線を引く位置が間違えやすそう。 ・切り取り線をできあがり線から物差し何本分空けるか確認したい。 ○児童が見つけたポイントを確認する。 ・紐を通す部分はものさし2本分の縫いしろが必要。 ・ものさしがずれないように、協力をして線を引く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間が十分に確保できるよう、しるしの付け方を確認する際には、大型モニターに画像を映しながら分からなかったことを中心に確認を行う。 ・より正しくしるし付けができるよう、家庭での動画視聴で見つけたしるし付けのポイントを共有する。
<p>3 型紙を基に、布にしるしを付けて裁つ。 ○ペアになり、しるしを付けて布を裁つ。 <しるし付け> ①できあがり線を点線で引く。 ②できあがり線からものさし1本分外側に切り取り線を実線で引く。 ③紐を通すタイプのエプロンを作る場合は、ななめの部分はものさし2本分外側に切り折り線を引く。 <布を裁つ> ①切り取り線に沿って、布を裁つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体に合ったエプロンが作れるよう、協力、相談をしながら実習をするよう促す。 ・児童が自信をもって活動できるよう、布やものさしを2人で押さえるなど協力しながらしるしを付けている児童を称賛する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">しるし付け、裁断の場面</p> </div> <p>(ワークシート、布、行動観察) 知識・技能②</p>
<p>4 本時のまとめをし、振り返りをする。 ○しるし付けや布を裁つときのポイントをまとめる。 ・布で物を作るときには、縫いしろが必要。 ・布を裁つときには、はさみを机につけながら裁つ。 ○本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったことなどについて、振り返りカードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポケット作りで活用できるよう、活動の中で見つけたしるし付けや布を裁つときのポイントについて問いかける。 ・できるようになったことや分かったこと、今後の課題を自覚できるよう、視点を基に振り返りをするよう促す。 ・学習の見通しがもてるよう、学習計画を基に次時の学習について確認する。
<p><振り返り> 本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったこと。 ・縫いしろを考えてしるしを付けることが分かったから、ポケットを付けるときにも気を付けたい。 ・布を裁つときには、手で布を押さえながら、はさみを机につけると裁ちやすいことがわかった。</p>	

第5学年「ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活」 学習指導案〈略案〉 8～10／13時

(1) ねらい

エプロンの布端を三つ折りにして直線縫いをする活動を通して、ミシン縫いやミシンの安全な使い方を身に付けるとともに、丈夫にきれいに縫う方法を考え、よりよいエプロンの完成に向け、主体的に学習に取り組むことができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>0 三つ折り縫いの仕方の動画を家庭で視聴する。 ○ポイントや分からなかったことをまとめ、タブレット端末で送る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 製作の時間が十分に確保できるよう、三つ折り縫いについての動画を事前に視聴するよう促す。
<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○学習計画を基に、本時の学習内容を想起する。 ・ミシンを使ってエプロンの布端を縫おう。 ○学習課題を基に、どのようなエプロンができるとよいかを考え、本時のめあてを設定する。 ・丈夫できれいなエプロンを作りたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> 丈夫できれいなエプロンを作ろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 児童が立てた計画に沿って学習が進められるよう、学習計画を提示し、本時の学習内容について問いかける。 丈夫できれいなエプロンを作るという目的意識をもつことができるよう、どのようなエプロンを作れるとよいかについて問いかける。
<p>2 三つ折り縫いの方法を振り返る。 ○アイロンのかけ方を確認する。 ・アイロンを倒すと危ないから、水平な場所に置く。 ・使わないときは立てて置く。 ○家庭での動画視聴を基に、分からなかったことを中心に手順を確認する。 ・三つ折りの仕方をもう一度確認したい。 ・アイロンのかけ方が難しそう。 ○児童が見付けたポイントを確認する。 ・アイロンをかける前に折り目を付けるとよい。 ・縫う場所は、内側の折り目に近い所を縫う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安全に正しくアイロンがけができるよう、使い方をワークシートで確認する。 活動時間が十分に確保できるよう、三つ折り縫いを確認する際には、大型モニターに画像を映しながら分からなかったことを中心に確認を行う。 丈夫できれいにエプロンを縫うことができるよう、児童が家庭での動画視聴で見付けたポイントを共有する。 アイロンやミシンの使い方が分からないときには、班で相談したり、ワークシートや動画で確認したりするよう促す。
<p>3 エプロンの布端を縫う。 ○三つ折りをしてアイロンをかける。 ・しっかりアイロンをかけて折り目を付けよう。 ・けがをしないように正しくアイロンを使おう。 ○三つ折りした部分をミシンで縫う。 ・しっかり折り目がついていると縫いやすいな。 ・次の直線は真っ直ぐ縫えるようにしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自信をもって活動できるよう、2人で教え合いながら協力している児童や、動画を見返して児童自身で解決している児童を称賛する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>エプロンを製作する場面 (行動観察、ワークシート) 主体的に学習に取り組む態度①②</p> </div>
<p>4 本時のまとめをし、振り返りをする。 ○丈夫できれいに縫うためのポイントをまとめる。 ・ミシンをかけるとき、焦ると線が曲がってしまうので、ゆっくりと進めるとよい。 ・返し縫をするときは、しっかりと縫い目を合わせられるよう、しるしや縫い目を見ながら縫うと丈夫にできる。 ○本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったことなどについて、振り返りカードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 丈夫できれいに縫うポイントを捉えられるよう、製作で見付けたポイントを整理して、板書する。 できるようになったことや分かったこと、今後の課題が自覚できるよう、視点を基に振り返りをするよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習を振り返る場面 (ワークシート、振り返りカード) 思考・判断・表現③④ 主体的に学習に取り組む態度①②</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しがもてるよう、学習計画を基に次時の学習について問いかける。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><振り返り> 今日の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったこと。 ・アイロンがうまくかけられなかったので、次回はもう少し丁寧にアイロンをかけたい。 ・返し縫いを忘れてしまったときがあったので、次回はよく確認をしながら作業をしたい。</p> </div>	

第5学年「ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活」 学習指導案〈略案〉 11・12/13時

(1) ねらい

取り付ける位置や大きさなどを工夫してポケットを付ける活動を通して、自分に合った使いやすいエプロンを製作することができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>0 ポケットの製作方法の動画を家庭で視聴する。 ○ポイントや分からなかったことをまとめ、タブレット端末で送る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製作時間が十分に確保できるよう、ポケットの製作方法についての動画を事前に視聴するよう促す。
<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○学習計画を基に、本時の学習内容を想起する。 ・使いやすくなるようにポケットを付けよう。 ○使いやすいエプロンにするためにはどのようにポケットを付ければよいか考え、本時のめあてを設定する。 ・ポケットの付ける位置を工夫する。 ・使いやすい大きさのポケットにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> 使いやすいエプロンにするために、ポケットを付けよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が立てた計画に沿って学習が進められるよう、学習計画を提示し、本時の学習内容について問いかける。 ・使いやすいエプロンにするためにポケットを付けるという目的意識をもつことができるよう、ポケットの大きさや位置を決めるときに気を付けることを問いかける。 ・ポケットの位置や形を考えたり、製作したりする際の参考となるよう、見本のエプロンを提示する。
<p>2 ポケットの製作方法を振り返る。 ○家庭での動画視聴を基に、分からなかったことを中心に手順を確認する。 ・しるしの付け方をもう一度確認したい。 ○児童が見付けたポイントを確認する。 ・縫いしろを考えてからしるしを付ける。 ・口の部分だけ三つ折り縫いをする。 ・丈夫にするために、縫い付けるときはポケットの口より2針くらい多く縫う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間が十分に確保できるよう、ポケットの製作方法を確認する際には、大型モニターに画像を映しながら分からなかったことを中心に確認を行う。 ・ミシン縫いによる製作についての理解が深められるよう、ポケットの製作方法を確認する際には、これまでの学習とのつながりを問いかける。
<p>3 ポケットを付ける。 ○ポケットを作り、エプロンに縫い付ける。 ①使いやすい大きさ、形、数、位置を考え、型紙を作る。 ②型紙を基に、布にしるしを付け、裁断する。 ③口の部分を三つ折りにしてアイロンをかけ、縫う。 ④口以外の三辺を二つ折りにして、アイロンをかける。 ⑤ポケットを付ける部分にまち針で留めて、縫う。 ○紐の通し方を確認し、紐を通す。 ・紐通しを使うと簡単に通せる。 ・なかなか紐が進まないから、友達に相談しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自信をもって活動できるよう、これまでの学習を生かしてミシンを使ったり、安全に気を付けてアイロンをかけたいたりしている児童を称賛する。 ・ポケットの製作方法が分からないときには、児童自身で確認できるよう、同じグループで相談したり、タブレット端末で動画を確認したりするよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>ポケットを製作の場面</p> </div> <p>(行動観察、エプロン) 知識・技能③</p>
<p>4 本時の学習の振り返りをする。 ○本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったことなどについて、振り返りカードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったことや分かったこと、今後の課題が自覚できるよう、視点を基に振り返りをするよう促す。 ・学習の見通しがもてるよう、学習計画を基に次時の学習について問いかける。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><振り返り> 本時の学習でできるようになったことや分かったこと、できなかったこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポケットに台拭きやバンダナが入るように、大きさを工夫して作成できた。 ・今までの縫い方を生かして、目印を決めながら縫ったら、真っ直ぐきれいにポケットを付けることができた。 </div>	

第5学年 「ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活」 学習指導案〈略案〉 13／13時

(1) ねらい

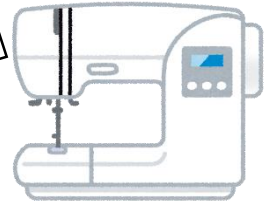
製作したエプロンや家庭で活用した様子について振り返ることを通して、題材を通してできるようになったことを自覚し、これからの生活や学習に生かそうとすることができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○学習計画を基に、本時の学習内容を想起する。 ・題材のまとめをしよう。 ・自分のエプロンを紹介しよう。 ○本時のめあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> 学習課題の振り返りをしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が立てた計画に沿って学習が進められるよう、学習計画を提示し、本時の学習内容について問いかける。 ・よりエプロンの良さを伝えることができるよう、事前にエプロンを着用するよう促す。
<p>2 エプロンの紹介をする。 ○エプロン製作の際に工夫したこと、実際に活用して感じたことを紹介し合う。 ・ハンカチがすぐに使えるよう、取り出しやすい大きさのポケットにした。 ・はじめに縫った部分が曲がってしまったから、次にミシンを使う時は、エプロン作りの経験を生かして真っ直ぐに縫いたい。 ・ポケットにハンカチを入れて料理をしたら、とても使いやすかった。 ・紐を調節すると長さを変えられて、大きくなっても使えるようなエプロンができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介する時間を十分に確保することができるよう、工夫点や活用してみた感想について事前に記入するよう促す。 ・ミシン縫いによる製作への自信や、次への製作意欲に繋がられるよう、友達のエプロンの良い点を伝えるよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>作品について紹介する場面 (ワークシート) 主体的に学習に取り組む態度③</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシン縫いによる製作への意欲を高められるよう、他の物を製作した児童の実践を紹介する。
<p>3 学習課題を基に、本題材のまとめをする。 ○学習課題に対する答えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分の体に合っていて、使いやすく、丈夫で、きれいなエプロンを作るには、どうすればよいだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体に合ったエプロンを作るには型紙を作って大きさを考えるとよい。 ・使いやすいエプロンを作るには、自分の身長に合ったサイズにしたり、ポケットの位置や大きさを工夫したりするとよい。 ・ミシン縫いは丈夫に縫うことができ、さらに返し縫うとより丈夫になる。 ・きれいに縫うためにはしるしをよく見て、ゆっくりとミシンを進めるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が学習課題に対する考えをもつことができるよう、個人で考えて答えを記入する時間を設ける。 ・自分の考えが書けない児童には、エプロン製作で気を付けたこと、頑張ったことなどを基に学習課題に対する答えが書けるよう、エプロン紹介のワークシートを確認しながら記入するよう助言する。 ・学習課題に対する答えが共有できるよう、児童の意見を整理しながら板書する。
<p>4 題材全体の学習について振り返る。 ○本題材でできるようになったことや今後生かしていきたいことなどを振り返りカードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を自覚できるよう、本題材でできるようになったことや今後生かしていきたいことなど、視点を基に振り返りをするよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習を振り返る場面 (振り返りカード) 主体的に学習に取り組む態度③</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><振り返り> 題材全体を通してできるようになったことや今後生かしていきたいこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンの準備から縫うことまでできるようになったから、次は他の物も作ってみたい。 ・自分の体に合ったエプロンを作れたから、次は机にあった大きさのランチマットを作ってみたい。 ・友達の作品のよいところをまねして、次回作品を作る時には使うときのことを考えて作りたい。 </div>	

ミシンにトライ！手作りで楽しい生活①

5年 組 番 名前 _____



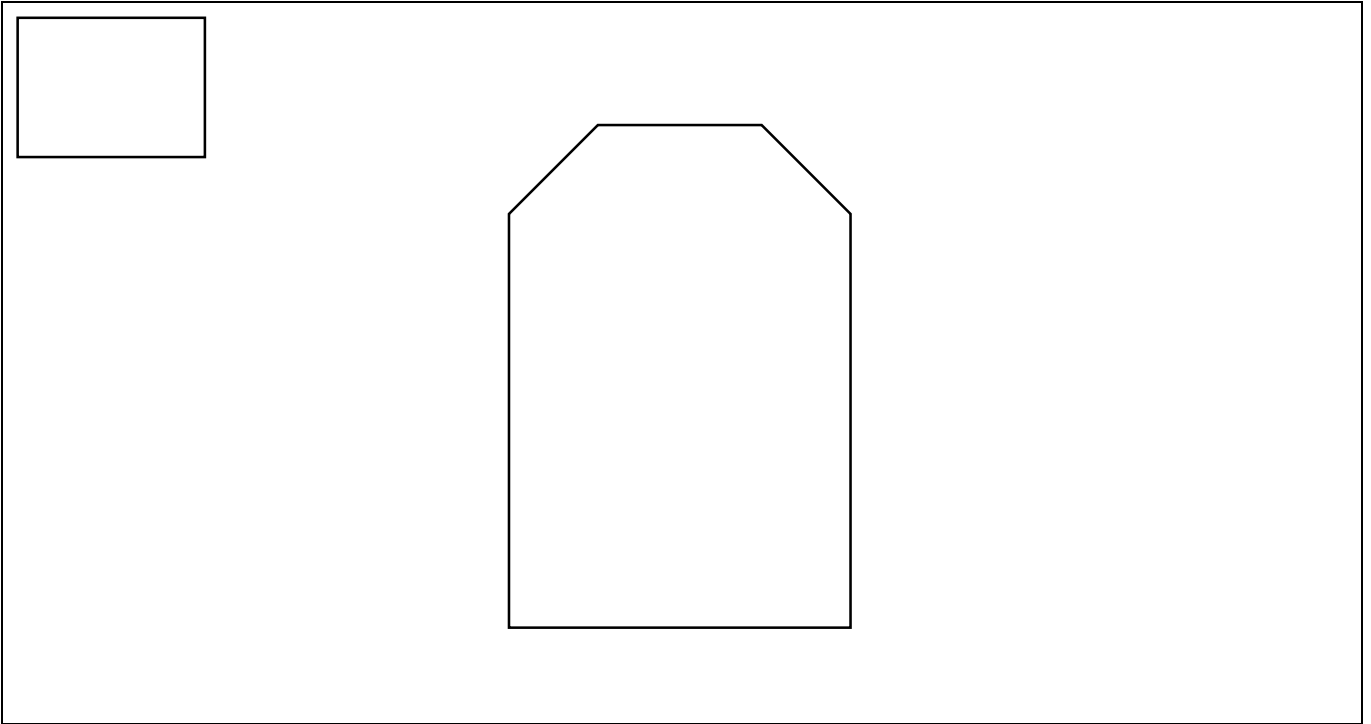
<学習課題>

<学習計画>

ミシンにトライ！手作りで楽しい生活②

5年 組 番 名前

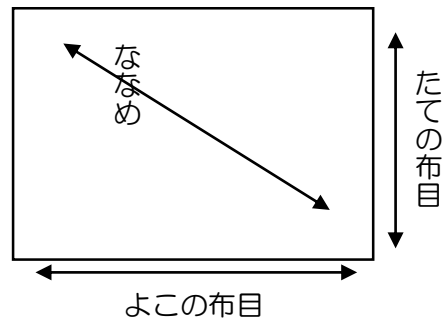
○どんなエプロンが作りたいですか？



○作るために必要な材料は？ *必要なものだけ、長さや数を書きましょう！

<p>• ひも</p> <p>丸ひも _____</p> <p>平ひも _____</p> <p>• Dカン _____こ</p>	<p>• 布</p> <p>たて _____ cm + 10cm → _____ cm</p> <p>横 _____ cm + 10cm → _____ cm</p>
---	---

布について

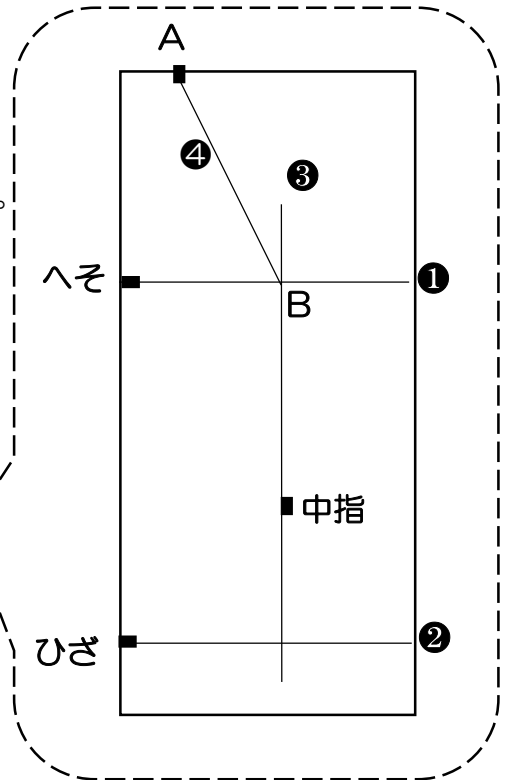


ミシンにトライ！手作りで楽しい生活③

5年 組 番 名前

<型紙作りの手順>

- しるし**
- ①型紙のおってある側を体の中心におく。
 - ②おへそのある位置にしるしを付ける。
 - ③気をつけをした時の中指の位置にしるしを付ける。
 - ④ひざの位置を確認し、自分の計画に合わせた長さの位置にしるしを付ける。



- 線を引く**
- ①おへその位置から横にまっすぐ線を引く。
 - ②ひざ（長さ）の位置から横にまっすぐ線を引く。
 - ③中指の位置からたてにまっすぐ線を引く。
 - ④A（はじめからあるしるし）と B（①と③が交わったところ）を直線で結ぶ。

- 切る・測る**
- ①線にそって、型紙を切る。
 - ②型紙のたてと横の長さを測る。

<必要な布の量>

・たて _____ cm + 10cm → _____ cm

・横 _____ cm + 10cm → _____ cm

ミシンにトライ！手作りで楽しい生活④

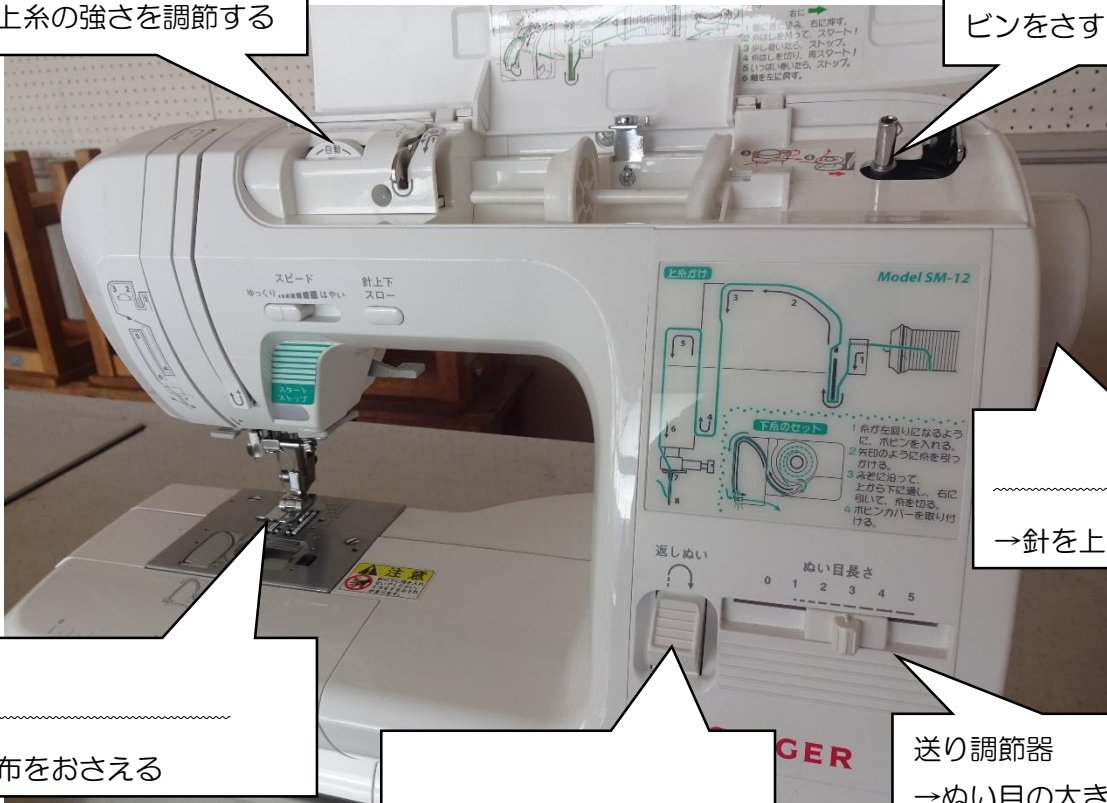
5年 組 番 名前

1. ミシンを使うときの約束

2. ミシンの各部の名前

上糸調節装置
→上糸の強さを調節する

糸巻きじく
→下糸をまくときにボ
ピンをさす



→布をおさえる

→返しぬいをする

→針を上下させる

送り調節器
→ぬい目の大きさを調節

3. ミシンを使う時の基本の手順を確認しよう！

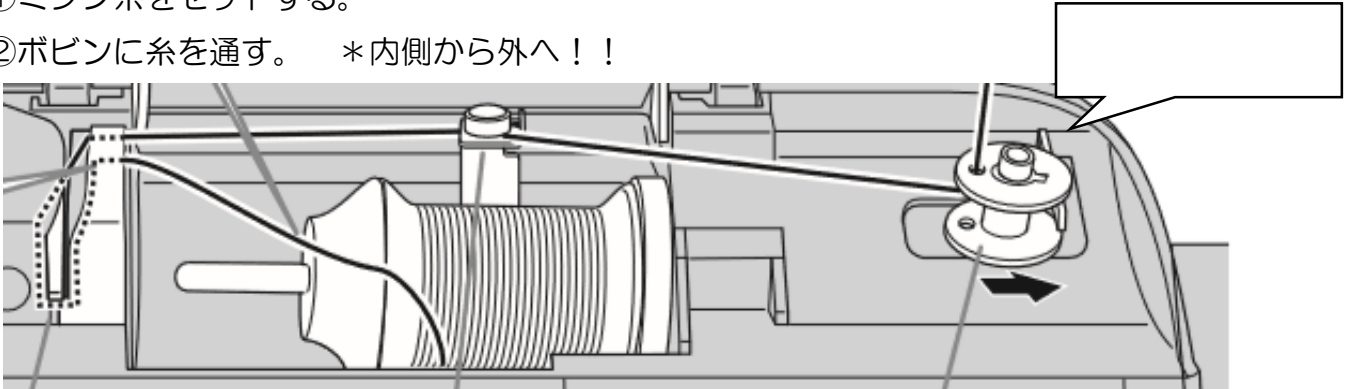
	手順	できたら チェック
1. 準備する	①カバーが外れないように注意して、両手で運ぶ。	
	②カバーはずし、人が通らない場所におく。	
	③ _____ が切れていることを確認する。	
	④ _____ が体の中心にくるようにすわる。	
	⑤コンセントにプラグを差し込む。	
2. 空ぬいをする	①電源を入れる。	
	②レバーをあげて、おさえの下に布を置く。	
	③はずみ車を手前に回し、ぬい始めの位置に針をさす。	
	④おさえを下ろす。*スピードは「 _____ 」!!!	
	⑤両手を _____ にして、布を軽くおさえる。	
	⑤スタート、ストップをする。	
	⑥針とおさえをあげる。	

ミシンにトライ！手作りで楽しい生活⑤

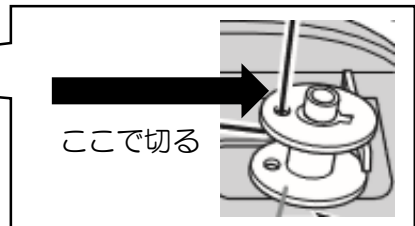
5年 組 番 名 前 _____

1. 下糸をまく

- ①ミシン糸をセットする。
- ②ボビンに糸を通す。 *内側から外へ！！



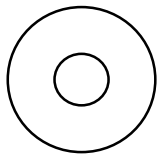
- ③ボビンに通した糸をもったまま **スタート** をおす。
- ④少しまいたら、持っていた糸を切る。
- ⑤まき終わったら、 **ストップ** をおし、糸を切る。



<メモ>

2. 下糸をセットする

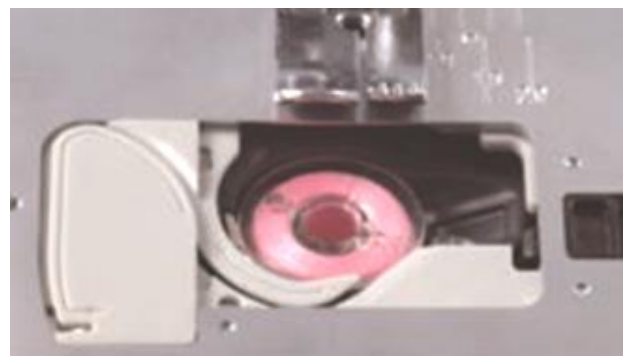
- ①ボビンの向きを確認する。



ボビンの向きが間違っていると正しくぬえません

- ②やじるしに合わせて糸を通す。
- ③糸を切り、ふたをする。

*電源を切って行う



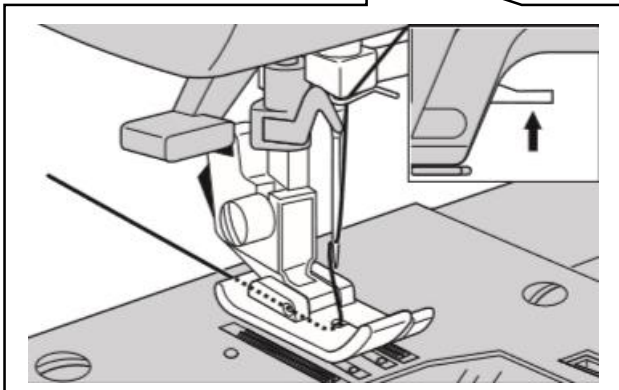
<メモ>

3. 上糸をセットしよう!

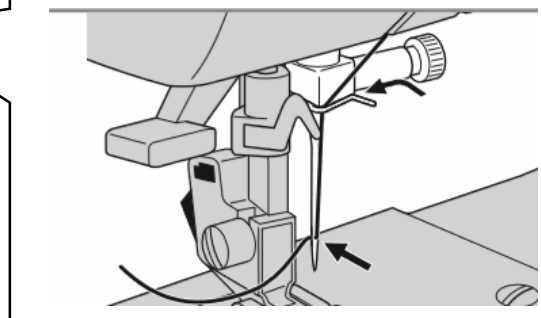
*電源を切って行う



- ①針が上がっていることを確認する。
- ②1～8の手順にそって、糸をかけていく。
- ③おさえを上げ、おさえの下から糸を10cmくらい後ろへ引き出す。



7・8番



<メモ>



ミシンにトライ！手作りで楽しい生活⑥

5年 組 番 名前

<直線ぬい>

【ぬい始め】

- ①布をおさえの下に置く。
- ②はずみ車を手前に回し、ぬい始めの位置に針をさす。
- ③おさえを下げる。→スタート・ストップ

【ぬい終わり】

- ①針をあげて、おさえを上げる。
- ②布を向こうに引き、糸を10cmほど残して切る。

直線ぬいのポイント

返しぬいのポイント

<返しぬい>

【ぬい始め】

- ①2～3cm手前に針をさす。
- ②返し縫レバーを押して、はじめまで返しぬいをする。

【ぬい終わり】

- ①ぬい終わりまでぬったら、返しぬいレバーを押し、2～3m返しぬいをする。
- ②布を向こうに引き、糸を切る。

<角を曲がる>

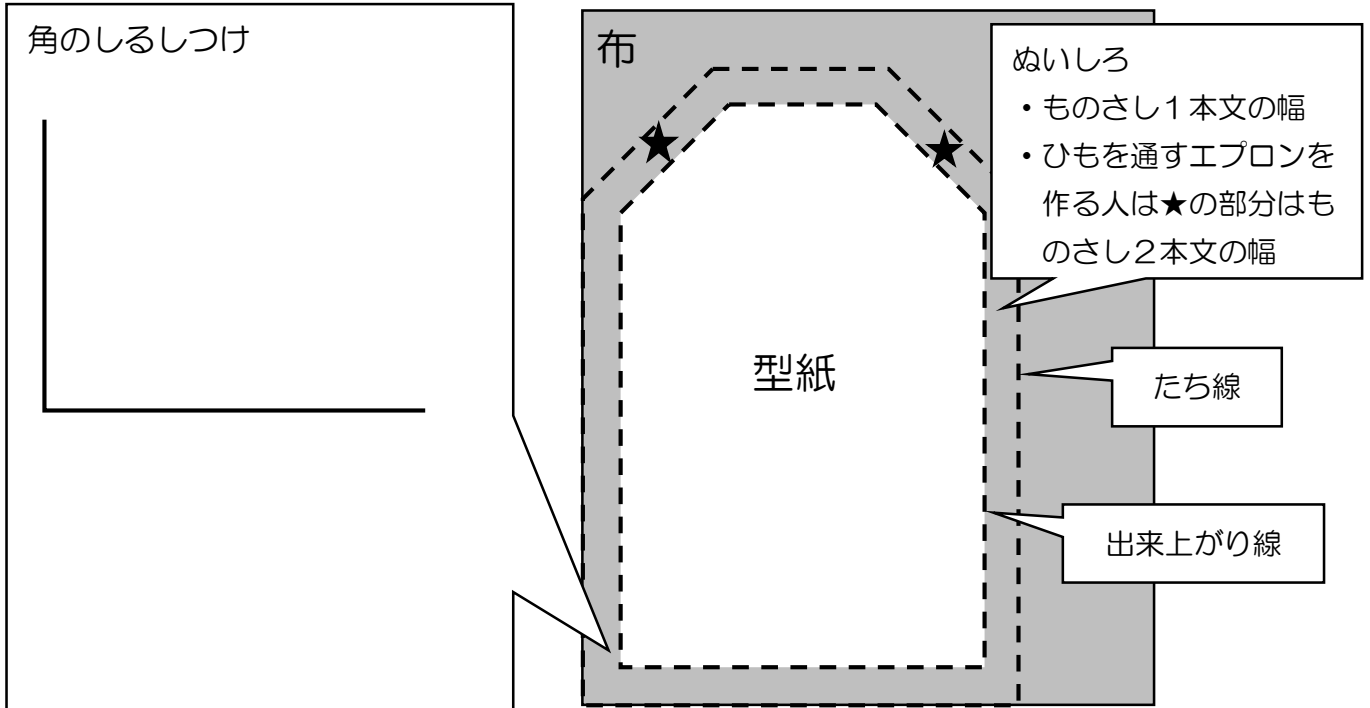
- ①はずみ車を手前に回し、角に針をさす。
- ②おさえを上げて、布を回す。
- ③おさえを下ろしてぬう。

角を曲がる時のポイント

ミシンにトライ！手作りで楽しい生活⑦

5年 組 番 名前

①布にしるしを付ける



②たち線にそって布をたつ



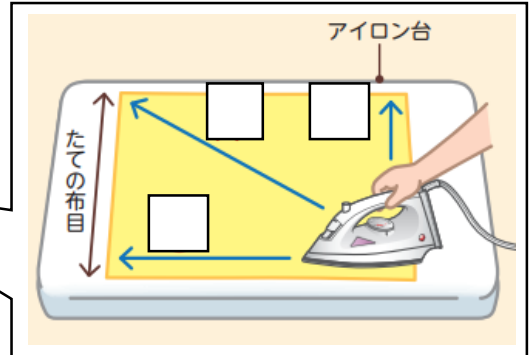
布をたつときのポイント

ミシンにトライ！手作りで楽しい生活⑧

5年 組 番 名 前

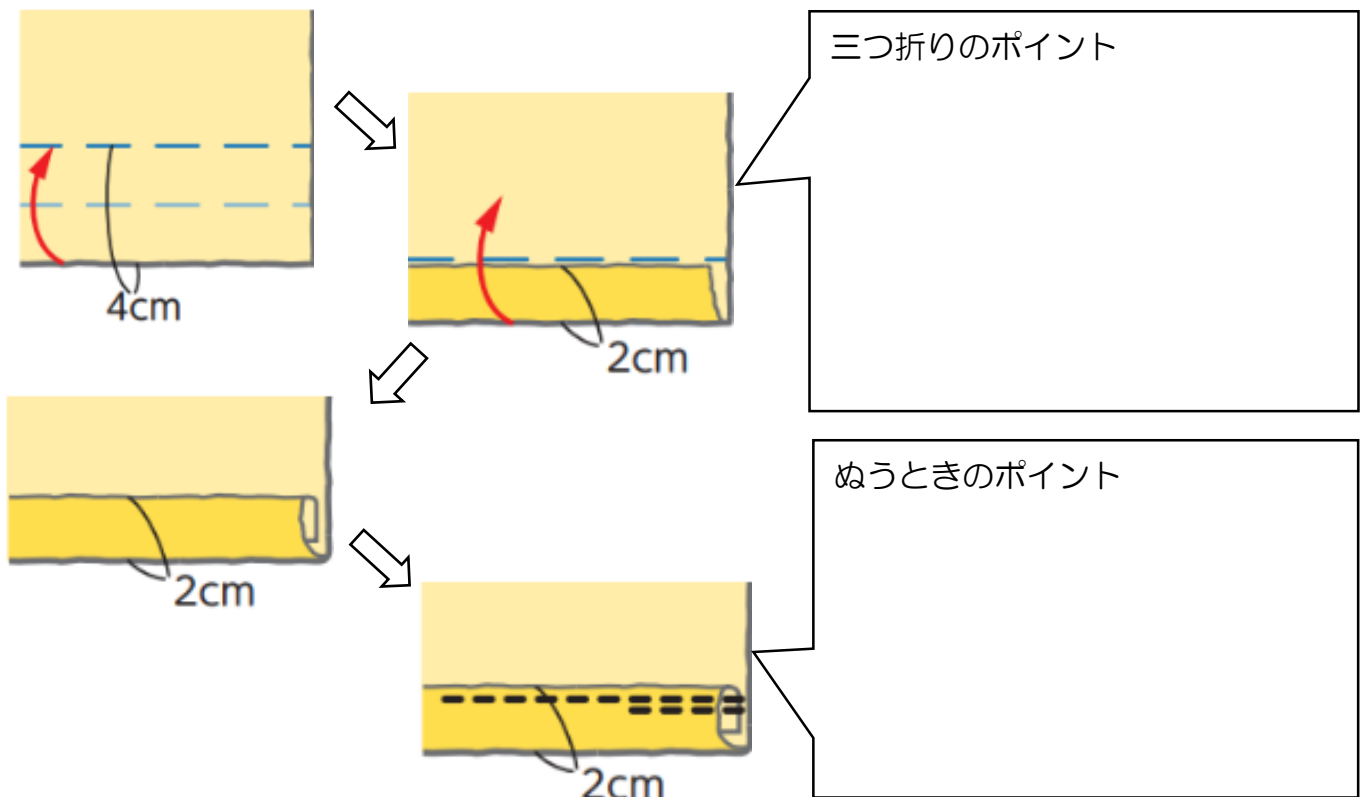
①アイロンのかけ方

1. コンセントにプラグを差し込む。
2. 布の種類に合わせて温度を調節する。
3. 布目に合わせてアイロンをかける。
4. かけ終わったら、「切」にする。



<アイロンを使うときの注意点>

②三つ折りにしてぬう



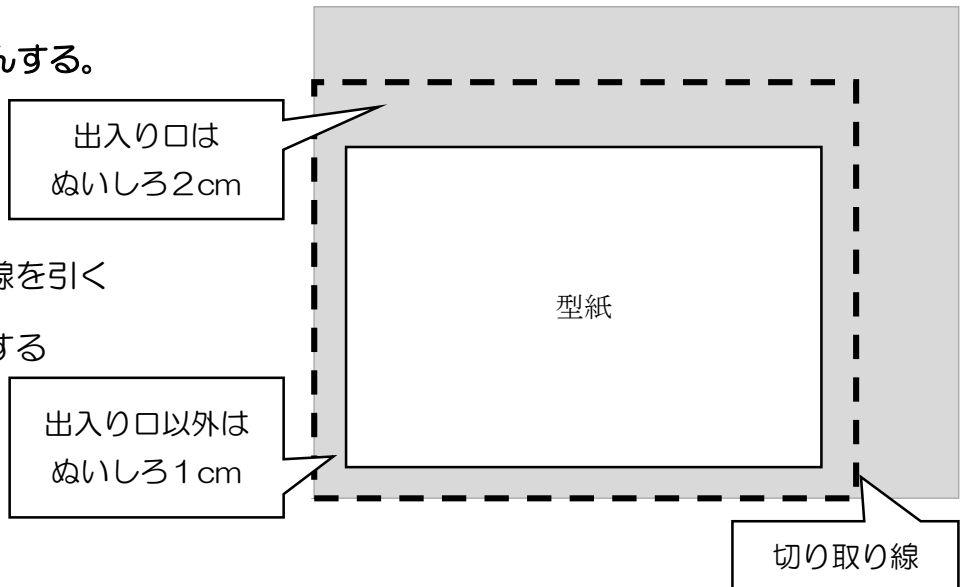
ミシンにトライ！手作りで楽しい生活⑨

5年 組 番 名前

①ポケットの型紙を作る。

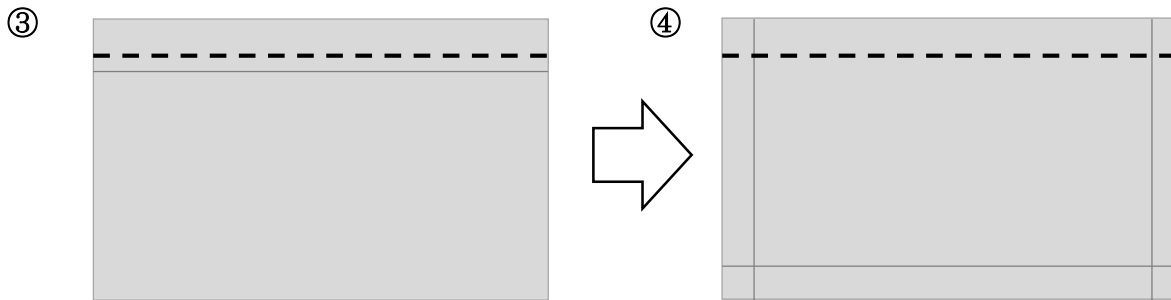
②布にしるしを付け、さいだんする。

- 型紙に合わせて
できあがり線を引く
- ぬいしろ分外側に切り取り線を引く
- 切り取り線で布をさいだんする



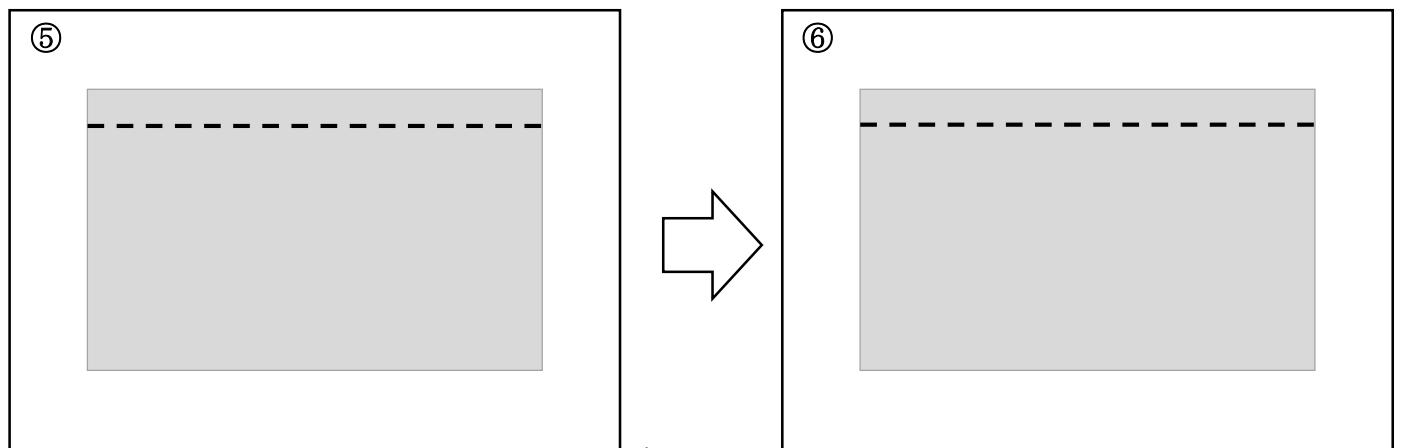
③出入り口の部分を三つ折りにして、直線縫いをする。

④③以外の部分をできあがり線で折り、アイロンをかける。



⑤ポケットをエプロンに、まち針でとめる。

⑥ポケットをぬい付ける。



8. ミシンにトライ！手作いで楽しい生活

<学習課題>

1	がんばりたいこと・できるようになりたいこと		
	○できるようになったこと(わかったこと) △できなかったこと(わからなかったこと)	がんばったこと がんばりたいこと	これからの学習や生活に 生かしたいこと
2			
3			
4			
5			
6			

	○できるようになったこと(わかったこと) △できなかったこと(わからなかったこと)	がんばったこと がんばりたいこと	これからの学習や生活に 生かしたいこと
7			
8			
9			
10			
11			
12			